



そよ風



大阪市立大学
医学部附属病院

発行/大阪市立大学医学部附属病院 良質医療委員会
〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
TEL 06-6645-2711
http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/

2010年12月
第13号



Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

地域周産期母子医療センター



本院は本年10月1日に地域周産期母子医療センターの認定を受けました。従いまして24時間体制で当院通院中の妊婦さんだけでなく、この地域全ての妊婦さんに対して常時積極的に転入院を受け入れています。母子の治療を一貫して行う母体搬送受け入れ(OGCS)もセンター病院の使命です。産科医と小児科医が車輻の両軸として協力して診療を行うことで地域全ての妊婦さん・赤ちゃん・ご家族に笑顔の輪が広がるよう、スタッフ一同日々最善を尽くしています。

周産期センターの中で小児科は、新生児集中治療室(NICU)という施設で診療を行っています。お母様のおなかから出生した赤ちゃんは大変な環境変化を体験するのですが、中には病気を持って生まれてきたり、その変化に十分対応できない赤ちゃんがいます。「NICU」は専門的な技術や知識を持ったスタッフが、そういう赤ちゃんの治療を行うための専門施設です。人工呼吸の必要な赤ちゃんも同時に



6人まで治療できる設備とスタッフが整っています。毎年1000グラム(出生体重)前後の小さな赤ちゃんが10人以上元気に退院されています。またこれまで500グラム(出生体重)に満たない赤ちゃんも退院されて今では中学生になっておられます。このように院内で生まれた赤ちゃんだけでなく、近隣の病院で生まれた重症の赤ちゃんも24時間体制で受け入れており(NMCS)、当院のNICUは地域の赤ちゃんにとって希望の光となって活動しています。

これからも皆様のご支援をお願いいたします。

(文責 小児科 新宅治夫)



理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき市民の健康に寄与する質の高い医療を提供します

こころ豊かで信頼される医療人を育成します

医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

(大学病院の) めざすところ 基本方針

- ・患者本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療を提供します
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します

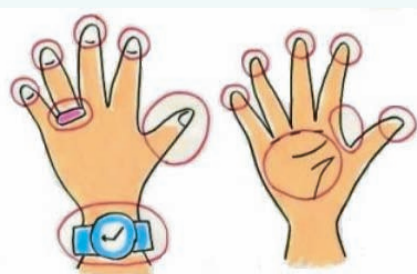
安全管理対策室だより ～安全・安心で、みんな笑顔の病院づくり～

第7回 インフルエンザ予防も まず手洗いから!



そろそろインフルエンザが流行する季節を迎えました。今年のインフルエンザワクチンは、新型インフルエンザ(1種類)と季節性インフルエンザ(2種類)の3つに効果があります。もうすでにインフルエンザワクチンを接種された方も多いと思いますが、ワクチンを打ったからといってインフルエンザを完全に防げるものではないため、感染防止の対策をしっかり行いましょう。

インフルエンザの感染経路は咳・くしゃみなどによる飛沫感染が主とされていますので、マスクやうがいは感染防止に効果があります。



▲丸印の部分は洗い残しが多いので注意しましょう!

しかし、ウイルスが付いた手からうつることもあるため、「手洗い」は非常に重要です。ウイルスや細菌などの「バイ菌」は、目に見えません。私たちの手は、知らないうちに「バイ菌」だらけになっているのです。

では、どんな時に、手を洗う習慣をつけたらいいのでしょうか？

外から帰ったときや、食事の前、トイレの後はもちろんですね。その他、ドアノブや手すりなど不特定多数の人が使う物・場所に触れた後も必要です。手洗いは15秒以上かけてしっかり洗いましょう。特に、指先、指の間、親指、手首などは洗い残しが多いので注意して下さい。目に見える汚れがないときは、アルコールの入った手指用消毒剤を使ってもよいでしょう。

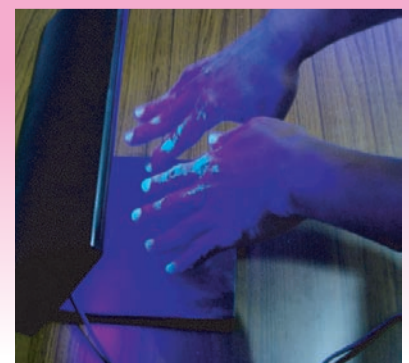
手洗いをしっかりして病気を防ぎましょう。



病院職員も手洗いの研修を行っています



▲手洗い研修の風景



▲白っぽい部分は洗い残し

診療科紹介

皮膚科

大阪市大皮膚科へは年間4500人程度の新患者さんが受診され、延べ数では35000人ほどになります。こんなに多くの患者さんが受診されますので、初診の方はもちろん、予約の外来でもかなりお待たせしてしまっている点は真に申し訳なく思っています。

大学病院に来られる患者さんは難治の皮膚病を持った方が多く、診断にも治療にも、またご説明にも時間がかかりますので、この点ご理解賜りますようお願いいたします。

当科のモットーは昔から「患者さん第一主義」を掲げており、医師、看護師、受付事務員ともども日々頑張っており、診察に当たっております。

あらゆる種類の皮膚病の患者さんが来院されますが、幅広い守備範囲で診察させていただいております。たとえば、遺伝性疾患やアザから、アトピー性皮膚炎・接触皮膚炎・乾癬・水疱症・薬疹などの炎症性皮膚疾患、全身疾患(膠原病・糖尿病)に伴う皮膚症状、さらに種々の良性・悪性皮膚腫瘍、脱毛症など多岐にわたって診察しています。

このように多くの疾患を診察するに当たってまず重要なのが正しい診断です。内科と同じく血液検査や尿検査、CTやMRIの画像検査などを交え種々検討が必要な場合もあれば、皮膚を少し採取し特殊染色して顕微鏡で検討する生検検査を行うことで正しい診断ができる場合もあります。かぶれやアレルギーを疑う皮膚炎には、パッチテスト(背中や腕に原因を疑う物質を貼る)やプリックテスト(原因を疑う物質を細い針で少し入れる)を行い、原因を決定しています。

必要なときにはよろしくご協力をお願いします。



夢見る病院

～大切な人と思いをつなぐ
《夢のたね2010 osaka》に参加しました♪～

それは、今から40年前。明るい未来を信じて、ここ、大阪に集った大きな「夢」がありました。そう、「人類の進歩と調和」の大阪万国博覧会です。今、その夢と希望は語り継がれていますか？

「・・・夢を考えるとときには大人も子供も自分に真剣に向き合っているからなのです。希望や夢を持つ事がむずかしい時代であって、それはとても大切なことです。・・・想像してほしいのです。そのひとつの夢には、ひとりの生命があり、大切な気持ちがあって、ささやかな暮らしがあることを。」と、《夢のたねプロジェクト》の発案者、アーティストの高橋匡太さんは、こう語ります。《夢のたねプロジェクト》とは、生命と夢に向き合う、そんな素敵なプロジェクト。市大病院でもやりませんか？とお話があったとき、一も二もなくOKしました。

なぜなら市大病院には、夢を共にする仲間達がたくさんいるからです。「元気になるう！」と願う患者さん・ご家族のみならず、「元気になるう！」と願う病院職員達です。《夢のたね》とは、たねの形をした紙に一人ひとりが自分の夢を描き、それに小さなライトを付けたもの。9月～11月にかけて、病院の会議室や病棟、外来待合スペースで開催された《夢のたねプロジェクト》ワークショップでは、大人の患者さん・子ども達・ご家族・職員が、たくさん参加して、たくさん夢を描きました。この《夢のたね》たちは、来る12月4日の夜、万博公園で気球に積み込まれて上空へ。そして一人ひとりの夢が光の「たね」となって公園いっぱい降りそそぐのだそうです！ワークショップに参加された方も、参加できなかった方も、夢と生命の大切さに思いを馳せながら、是非、万博公園のロマンチックな夕べをお楽しみください！



夢のたね。LEDライトが光ってとてもきれい。

※写真提供(杉山さん)



大人も子どもも、職員も、みんなで夢を描きました。

夢のたね2010 OSAKA

夢のたね
祝祭

◆日時◆ 2010年12月4日(土)
◆開場◆ 17:30 ◆祝祭◆ 18:30～20:00
◆会場◆ 万博公園・東の広場

夢のたね
2010 osaka



主催：「夢のたね2010 OSAKA」プロジェクトチーム
事務局本部：一般社団法人文化農場(代表：橋本敏子・HP)
HP: <http://yumetane.com/>

※風の状況で気球があげられず延期になる可能性あり。当日の夢のたねホームページにて確認の上お越しください。入場無料。

患者様の権利

- ・安全で質の高い医療を受ける権利があります
- ・自由意志に基づき治療を選択する権利があります
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利があります
- ・セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受ける権利があります
- ・人の尊厳を尊重した医療を受ける権利があります
- ・医療に関する個人情報やプライバシーが保護される権利があります
- ・健康教育を受ける権利があります

患者の皆様へのお願い

- ・あなたの健康に関する情報は、できる限り正確にお伝えください
- ・病院スタッフの説明がわかりにくい場合は、納得できるまでお聞きください
- ・診療上必要な指示や助言は、お守りください
- ・他の患者様の権利を尊重し、迷惑がかかることのないようにご配慮をお願いします
- ・治験・臨床試験に、ご協力をお願いします
- ・大学病院の責務である医療人の育成と研究に、ご理解とご協力をお願いします



病院ボランティアを募集しています!!

◆活動内容◆

- ・外来を中心とした患者さまへの院内案内
- ・車椅子をお使いの患者さまやお身体の不自由な患者さまの移動介助
- ・その他

※活動内容に関するアイデアにつきましても、今後考えていきたいと思っています。

◆お問合せ先◆

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
大阪市立大学医学部附属病院
ボランティアルーム
TEL/FAX: 06-6645-2694
E-mail: volunteer@med.osaka-cu.ac.jp

★外来でオリジナルエプロンを着用しているスタッフにお声掛けください。

大阪市立大学医学部附属病院の概要

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
電話 (06)6645-2121 (代表)

初診受付時間 午前9時～午前10時30分
休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日

診療科

総合診療センター、循環器内科、呼吸器内科、膠原病内科、生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科、骨・リウマチ内科、消化器内科、肝胆膵内科、小児科・新生児科、神経精神科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、核医学科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、女性診療科(産婦人科)、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科・ペインクリニック科、形成外科、血液内科・造血細胞移植科、老年科、神経内科

※本院は、専門医療を中心に医療を提供していますので、受診するには原則、診療情報提供書(紹介状)が必要です。

